

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 遠藤 秀治

第 273 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 25 年 1 月 19 日（土）午後 2 時 30 分より
場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

【内容】 総合司会 村上記念病院 薬剤部 杉山 雄司

- 1、 会長挨拶
- 2、 会員発表

1. 病院紹介「久美愛厚生病院」

久美愛厚生病院 薬剤部 梶屋 敏宏 先生

2. 持参薬鑑別とプレアボイド報告 ―薬物療法の安全性向上への実例―

蘇西厚生会 松波総合病院 薬剤部 塚田 絢子 先生

3. B 型肝炎ワクチン皮内接種の有効性および副反応に関する検討

みどり病院 薬剤部 小林 正則 先生

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円

* 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

久美愛厚生病院紹介

岐阜県厚生農業協同組合連合会
久美愛厚生病院 梶屋 敏宏

はじめに

久美愛厚生病院（くみあいこうせいびょういん）は、高山盆地の北部に位置し、東に乗鞍岳、南東に御岳、西に白山が遠望できる環境にあります。

岐阜県厚生農業協同組合連合会（以下、J A岐阜厚生連という）の県内7つの病院の一つで二次救急を担っております。主な診療対象地域は、飛騨市・高山市・下呂市であり、人口や医療機関も少なく、一つの医療機関が健診をはじめとした予防医療、診療、介護まで切れ目のないサービス提供を行わねばならない背景があります。

病医変遷

1939年10月に地域の人々が自主的に設立した医療組合が始まりで、1948年8月に経営をJ A岐阜厚生連へ移管し久美愛病院と名付けられました。その後、改修や増改築を繰り返し維持管理してきましたが、2012年5月に高山市中切町1丁目1番地へ新築移転しました。敷地面積約67000平方メートルと旧病院の約3倍を有し、点在していた介護関連事業所も集約し、ヘリポートの完備や緩和ケアセンター（緩和ケア病棟23床）の新設、検診車の更新、内視鏡治療室・通院治療室の完備、PET検査機器の導入なども実現しました。

病院概要

病床数300床（一般288床、結核病床8床、感染病床4床）で7病棟あります。職員数は約380名（医師38名、看護師235名等）で、診療科として、内科・心療内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科を標榜しています。併用施設としては、腎センター（人工透析）、緩和ケアセンター、健診センター、訪問看護ステーション、医療介護センター、地域医療連携、保育所があります。また、第三者評価として2004年3月にISO9001:2008を認証取得し、現在も医療サービスの改善を図りつつ継続的に取り組んでいます。

薬剤科内業務

院外処方率は約95%で、休日・時間については院内調剤を行っております。薬剤科の人員は、薬剤師8名、事務補助員1名です。勤務体制は、通年午前8時30分から午後5時15分で、平日は午後8時までの遅番体制を行っております。主な業務は次の通りです。

外来院内調剤・外来注射薬の補充・外来疑義照会の窓口業務・入院調剤・持参薬の再分包化・注射払出し・薬剤管理指導・無菌製剤調整（抗がん剤調整やIVH混注調整）・病棟定期薬の配薬車セット・薬品在庫管理・薬品情報提供活動・各種委員会への参画など

当院の特徴

臨床研修指定病院、ISO取得病院、緩和ケア病棟の新設、PET医療機器導入、ペリポートの設置。当院の薬剤科での特徴と思われる業務は、次の通りです。

入院調剤形態は、錠剤・散剤別一包化で、持参薬についても同様な形態です。入院注射払出し

は、1施用1トレーごとで分けし、翌日分だけを払出します。1日約350トレー使用します。

定期薬は、毎週7日分処方箋で病棟担当薬剤師が前日までに配薬車に組み入れます。作業時間は、1病棟あたり2時間程度費やします。

以上のように、当病院は薬の安全使用管理に薬剤師がより介入して、日々の業務を行っています。

持参薬鑑別とプレアボイド報告～薬物療法の安全性向上への実例～
(¹社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院薬剤部)
○塚田絢子¹⁾、村上幹親¹⁾、松本利恵¹⁾、横井義浩¹⁾、野田孝夫¹⁾

【目的】

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について、平成 22 年 4 月 30 日付け」をうけ、薬剤師の業務実績を示すアウトカムとして持参薬鑑別 100%実施、プレアボイド報告数を増加させる部内目標が平成 22 年 8 月に病棟常駐施行開始と同時に決定されました。平成 23 年 4 月より平成 24 年 9 月までのプレアボイド報告 1197 件のうち 296 件の持参薬鑑別関連症例より、持参薬鑑別での薬剤師の薬物療法向上への実績を求めため分析を実施した。

【方法】

296 件の持参薬鑑別関連プレアボイド報告をプレアボイド報告書様式 2 の原因分類項目を 1 部改変し、1) 同種同効・重複、2) 誤転記・誤処方・処方もれ、3) ノンコンプライアンス、4) 禁忌・併用禁忌・併用注意、5) 重大な副作用・特殊な状況、6) 過量投与、7) その他の項目に分類した。

【結果】

92 件(31.1%)が同種同効薬・重複が原因であり、次いで 86 件(29.1%)が医師による誤転記・誤処方・処方もれを指摘し、安全な処方変更を行ったものであった。禁忌・併用禁忌・併用注意・重大な副作用・腎機能低下など患者の薬物療法の安全性に重大な影響を及ぼす報告が 30 件(10.1%)などであった。

【考察】

主に病棟専任薬剤師によるプレアボイド報告は医師等の負担軽減・医療安全及び薬物療法の質の向上を記録する有用なツールではあるが、病棟薬剤業務時間の 25.6%を占め、相互作用・ハリス薬業務などへの影響が懸念される。病棟専任薬剤師が各病棟で行っている持参薬鑑別を集中させた持参薬管理センター(仮称)など、より一層の効率化を計る必要があると考えています。

B型肝炎ワクチン皮内接種の有用性および副反応に関する検討

¹みどり病院 薬剤部、²同内科、³同感染対策委員会
○小林正則^{1, 3}、今西正人¹、亀山聡美¹、岩井雄司^{2, 3}、原爽²

【目的】当院では、看護師などハイリスク者のB型肝炎ワクチン不応者のみ少量皮内接種してきたが、今回、抗体陰性の全ての職員を対象としワクチンの節約を目的に少量皮内接種法を試みた。

【方法】抗体陰性の職員 72 名に対し、ビームゲン[®]0.1mL を前腕屈側に 2 週間隔で 3 回皮内接種し、接種後の HBs 抗体陽転率及び副反応について調査した。最終接種から 1 ヶ月以降に測定した CLEIA 法抗体価が 10mIU/mL 以上を陽性とし、副反応は接種 4 週後の色素沈着、接種毎の腫脹、発赤等の局所反応、発疹、発熱等の全身反応について問診した。色素沈着は短径と長径から面積 mm²を算出し評価した。

【結果】最終接種の 1 ヶ月以降に抗体検査が確認できた 67 例について集計した。全体の HBs 抗体陽転率は 85.1%、平均獲得抗体価 91.7、日数別陽転率では、6 ヶ月未満 91.0%、6 ヶ月～1 年未満 87.2%、1 年以上 62.5%であった。男女別の陽転率、平均獲得抗体価はそれぞれ 82.4% 60.8IU/mL、86.0% 102.2IU/mL で男性の方が低値であった。年齢別では 23～29 歳 83.3%、30～39 歳 81.3%、40～49 歳 90.0%、50 歳以上 84.2%であった。副反応の全身症状は頭痛 6 例(3.0%)、倦怠感 8 例(4.0%)、発疹 2 例(1.0%)、発熱 2 例(1.0%)、筋肉痛 2 例(1.0%)を認めた。局所症状は色素沈着 186 例(93.5%)、かゆみ 87 例(43.7%)、発赤 55 例(27.6%)、腫脹 31 例(15.5%)、疼痛 1 例(0.5%)、膿瘍形成 6 例(3.0%)、色素沈着のサイズは平均 29.9 ±26mm²であった。

【考察】標準的な接種方法と比較し 1/5 量の B型肝炎ワクチンを皮内接種することで、同程度の抗体価を獲得することができた。副反応については、全身性の発現率は同等、局所反応は添付文書の 0.1～5%未満に比べ高頻度であった。色素沈着は軽微なものが大半であり経時的に消退していくが、美容上問題となることがある。今回の少量皮内接種法でワクチンの節約効果は認められたが、この方法での獲得抗体価の追跡と不応者に対するワクチン追加接種の検討が今後の課題と考えられた。

本要旨は、日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2012 で発表したものである。

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただき運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

記

日時：平成 25 年 1 月 19 日（土）午後 4 時 00 分より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695-2 TEL (058) 296—1200

■学術情報

『 不整脈とは（刺激伝導系・不整脈の分類・検査） 』

トーアエイヨー株式会社 名古屋支店 学術課 松本 真由美

■特別講演

座長 岐阜県総合医療センター 薬剤センター部長 遠藤 秀治 先生

『 これからの病院薬剤師業務を考える

— 広島大学病院の取り組み — 』

広島大学病院 薬剤部長 木平 健治 先生

共催 岐阜県病院薬剤師会
トーアエイヨー株式会社

※ 講演会終了後、グループディスカッションを計画しております。